

三浦外洋セーリングクラブ 理事会議事録

開催日：2024 年 9 月 3 日(火) 18:30~19:37

場 所：新橋駅前ビル 1 号館 6 階 605 号ダ・ヴィンチ大会議室 + Zoom ミーティング

出席者：

会場：

理 事：荒嶋、飯島、五十嵐、石原、内倉、臼田、尾山、加藤、黒岩、坂口、
庄野、高木、吉田

オブザーバー：藤村

Zoom：

理 事：黒岩、鈴木

監 事：小川

顧 問：関根、平松、児玉

(敬称略)

庄野理事の進行により、会議開始時点での参加人数(理事 18 人中 13 名出席)が定則を満たしていることから理事会の成立が確認され、飯島会長の挨拶があり、議事録作成に加藤理事、議事録署名に石原理事を指名して下記議案につき審議した。

<審議事項>

1、2025 年度ルールブックの配布と新ルール講習会について

ルール委員会五十嵐理事より、2025 年 1 月 1 日より新ルールに移行する為、ルールブックの配布を 1 月 1 日までに実施したいと要請があった。まとめたの購入は割引率が高いので前回同様事務局で 25 冊を購入し希望者に配布販売することを確認した。アプリ版はまだ確認が取れていないので取次次第報告。選手向けの講習会は外洋三崎と合同で 2~3 月に開催する方向で調整することを確認した。場所は東京も含めて検討する。

<報告事項>

1、次回 11 月までの間のレース・イベントの確認

荒嶋レース委員長より 11 月の理事会までに予定されているレース・イベントの報告があった。

9 月 8 日 湘南レース 秋谷沖スタート⇒江ノ島沖マーク往復

(相模 3 号ブイが撤去される為コース変更)

9 月 15 日(日) KFR

9 月 21~23 日 全日本ミドルボート選手権(熱海)協力

9 月 22 日(日) YOKOYAMA-CUP

10 月 13 日(日) 湘南レース 上下コース

10 月 20 日(日) KFR(600 回記念大会)

10 月 27 日(日) 若大将カップ

11 月 2 日(土)~3 日(日) 小網代カップレース

2、来年 4 月開催予定の小笠原レースについて

荒嶋レース委員長より小笠原レース第 1 回会議の報告があった。

日程は 2025 年 4 月 25 日(金) 艇長会議・前夜祭

4 月 26 日(土) 小網代沖スタート~小笠原父島二見湾内フィニッシュ

各艇フィニッシュ後の 5 月 1 日 父島二見湾内で島民を巻き込んでミニレースを開催し表彰式パーティー。5 月 2 日 島民体験乗船を予定。

小網代スタートでは島民の方々の盛り上がり欠けるのでなるべく島民を巻き込んで一緒に楽しんで頂けるように思案中とのこと。またエントリーにアーリーエントリーを設け早めのエントリーには割引も検討中。実行委員会の詳細は未定ながら全国の外洋団体にも協力を依頼し取り組んでいくとの報告があった。

3、全日本ミドルボート選手権について

飯島会長より熱海で開催される全日本ミドルボート選手権に、MOSC を代表して 9 月 21 日のウェルカムパーティーにご招待いただき出席すると報告があった。

レースの進捗について臼田理事より報告があった。

日程は 9 月 20 日～23 日。場所はスパ・マリーナ熱海で開催。

全国から 25 艇（関西 4 艇、九州 1 艇、東海 3 艇 マレーシアからチャーター艇で 1 艇）のエントリーがあり選手が 240 名、運営が 30 名、来賓が 10 名 総勢約 280 名が参加する大会となった。今回関東 4 団体の協力体制が組めとても感謝している。運営的にはスポンサーがついたことが大きい。運営スタッフも決まり、ぜひ観戦し盛り上げて頂きたいとのこと。

また熱海港の水深は 2～300m で本部船もアンカーが打てない。そこでスタートラインは両サイドドローンマークで設定する試みを実施する予定とのこと。

4、外洋団体長事務局長会議について

飯島会長より毎年行われている外洋団体長事務局長会議が 9 月 30 日に鹿児島で開催予定と報告があった。MOSC からは飯島会長と坂口事務局長が出席。今回は特別加盟団体も声をかけるとのことで交流が持てたらと期待しているとのこと。

5、バージデザインの進捗について

庄野理事より経過説明があった。5 月の理事会を受け会員の方々に意見を伺おうと 7～8 月にホームページで意見コンセプトを募ったところ 2 件の反響があった。1 件はアイデンティティについて、もう 1 件は具体的なデザイン案の提案。アイデンティティへの意見は外洋セーリング、外洋レースの日本の歴史は小網代湾から始まっているレガシーであるとのこと。また児玉顧問よりデザインを起こす前にコンセプトを理事で揉んでコンセプトメイクをし、そこから具現化していなくてはなかなか進まないのご意見があった。平松顧問より大坪デザインへの質問があり、叩きデザインの発注はデザインを採用しない場合でも支払うことを確認した。

これらを受けてコンセプトメイクを 11 月の理事会には文書で紹介できるようにすると庄野理事より発言があった。

6、JSAF 評議委員会報告について

飯島会長より 6 月 15 日に JSAF 評議委員会があり WEB で参加したと報告があった。議事は 2023 年度事業報告決算報告案、評議員選考委員会の委員の選考 2023～2024 年度役員候補者の選任が議案としてあった。その他佐賀国スポの挨拶、評議員からの質疑報告、専門委員科会からの報告などがあった。評議員からの質疑の中で「評議員は形骸化しているもっと質問などをして欲しい」との意見が出た。飯島会長の個人的感想としては資料が慣れていないと数字の羅列にしが見えず、配布され読み解く期間も短いので難しいとのこと。今回で飯島会長の任期が終了。来年から臼田理事が評議委員となると報告があった。

7、小網代湾横断の橋梁工事に伴うみさきヨット局について

飯島会長より橋ができることとみさきヨット局に障害が出るかもしれないと懸案されている事項に対し、8 月 25 日に神奈川県と港湾のコンサルタント会社が来て石原通信委員長と飯島会長に説明を受けた。その際みさきヨット局の件について神奈川県としては承知していますと再確認された。今後進捗があれば報告しますとのこと。

8、リビエラの大平さんご退職にあたっての感謝の品贈呈について

飯島会長より MOSC のレース活動に尽力された大平さんが定年退職されたので、7 月 21 日に感謝の盾を贈呈した。退職されたものの勤務は続けると報告があった。

9、8 月の湘南レースで衝突事故の報告

8 月 11 日（日）湘南レースの第 1 レースでスタート時 1 艇がラダートラブルとなり他艇と衝突。ぶつけられた艇のヘルムスマンがムチ打ちの症状があったので帰港し救急車で搬送された。それにより海上保安庁マターになったと報告があった。

以上で本日の議事をすべて終了し、19時37分に理事会を閉会した。

以上

2024 年 月 日

議事録署名人